2016年4月号「vol.70」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-24-3　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-761-7451

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

スギ林の混交林化や植え替え促進
神奈川県で花粉症予防の取り組み

鼻水、鼻づまり、くしゃみ、目のかゆみー。風邪の時節が終わったと思ったら今度は多くの人を悩ませる花粉症のシーズンが本番を迎えています。首都圏では4人に1人が花粉症を患っているといい、関東地方では原因となるスギ花粉の今シーズンの飛来が、平年に比べて少なかった昨年より多くなりそう、との見通しが立てられています。個々人レベルでは防御対策にさまざまな工夫を凝らすようになってきた一方、医学界では新薬の研究、行政では発生源を減らしたり、無くしたりする対策が進められています。神奈川県では首都圏の9都県市（東京、神奈川、埼玉、千葉の都県とこの中の指定都市）が2008年度から2017年度までの10年間を実施期間として共同で取り組んでいる花粉発生源対策事業に沿って対策を展開しています。

9都県市の花粉発生源対策の事業は①スギ林を広葉樹や他の針葉樹と混ぜ合わせた森林にしていく混交林化②花粉の少ないスギやその他の樹種への転換を進める植え替え③花粉の少ないスギの供給体制の整備―を展開しています。2014年度末時点では地域全体で混交林化された面積は1万2934㌶（目標の46％）で、植え替えは1337㌶（同30％）で行われ、このうち神奈川県では混交林化が2432㌶（同106％）、植え替えが38㌶（同28％）となっています。

神奈川県の取り組みの特色は花粉の少ないスギ（少花粉スギ＝花粉が一般的なスギの1％以下、低花粉スギ＝2割程度）の生産体制が進んでいること。県で生産されるスギ山用の苗木は、2004年以降は全量が花粉の少ないスギとなっています。1992年に全国で初めて富山県で無花粉スギが発見されましたが、神奈川県でも2004年に見つかり、対策に生かされています。国の方針では花粉症対策用のスギを1000万本までに増やす方針を立てていますが、神奈川県では先進県としてさらに積極的に対策を進展させていくことにしています。

コレが言いたい！

花粉発生源対策は広域的にかつ長期的に取り組んでいかなければならないため、今後も九都県市と協同で対策を進めていきます。また、平成28年度から花粉症対策苗木の生産に必要な設備整備に関して国の補助事業もあるので、これらを積極的に活用しながら植え替えを進めるよう取り組んでいくよう後押し致します。

今月のひと言

神奈川県立フラワーセンター大船植物園では、桜やしゃくなげ・つつじ・ぼたん・チューリップなどが見頃となります。ちょっと足を伸ばして訪れては？場所：JR大船駅西口から徒歩約15分。開園時間は、午前9時から午後5時まで。（毎週月曜日・祝祭日の翌日休園）

磁子 あれ？これ？

杉田小学校

杉田小学校は、根岸小、磯子小と共に同時期の明治6（1873）年5月に開校した歴史のある学校で、当初の校名は森田（しんでん）学舎でした。

当時、一村一校が普通でしたが、屏風ヶ浦から杉田周辺は人口も少ない寒村であったため、森公田村・森雑色村・森中原村・杉田村の四ヶ村の中心部の願行寺境内に建てられ、森三ヶ村の「森」と杉田村の「田」と取って「森田学舎」と名付けられました。 昭和4年に現在の場所に移りましたが、昭和30年2月の火災で殆んどが焼失してしまいました。その後、新築や改築を経て平成16年に現在の校舎が完成しました。

杉田小では特色のある活動として平成11年から、全校児童参加による子どもを育てる地域連携事業「わくわく杉田ワールド」がおこなわれています。昨年の活動では100人を越える地域の方が講師を務めました。活動はダンス・書道・囲碁・大工仕事など全21コースと幅広く9月から6回の活動日があり、11月には発表会が開催されて大盛況でした。また、地域を盛り上げる活動が盛んで、総合学習「杉田の時間」に子供たちが磯子の木である「梅」をテーマにしたゆるキャラ「ウメニー」を考え発表しました。

参考：磯子の史話・創立140周年記念誌・地元の方の話

活動報告

3月10日予算委員会で右記について質問いたしました。◇「オリンピック・パラリンピックを見据えた文化芸術の充実について」-平成28年度予算では「ミュージカルあふれる神奈川」を打ち出しているがオリンピック・パラリンピックに向けて、ミュージカルを含め神奈川県の伝統芸能や美術などあらゆる分野の文化芸術の振興をはかるべきである。◇「女性の活躍の推進について」-女性活躍推進法が成立したが、役員や管理職の女性を増やす事に焦点が当てられがち。ひとり親や非正規雇用の女性など困難を抱える女性に対する取組も必要である。

あらい絹世 プロフィール

- ●昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- ●横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- ●明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- ●日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- ●自民党かながわ政治大学12期生
- ●平成27年4月 県議会議員2期目当選
- ●県民企業常任委員会委員
- ●行財政改革・地方分権特別委員会副委員長
- ●自民党神奈川県議会議員団政務調査会副会長

✉あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-761-7451